

第1章 はじめに

1) 基本計画策定の目的 1-1-1

2) 基本計画策定までの流れ 1-2-1

第1章では、計画の目的と、会議体制や会議の流れ等の基本計画策定までの流れを示します。

1) 基本計画策定の目的

(1) 基本計画策定の背景

JR 肥前鹿島駅は特急及び普通列車が停車する鹿島市の主要駅ですが、令和4年9月23日の西九州新幹線開業に伴い、特急列車の大幅減便が予定されており、乗降客数や利用形態も様変わりすることが予想されます。

このような状況の中、代替交通の検討や近隣新幹線駅との連携も含め、鹿島市の顔・公共交通の玄関口としてどうあるべきかを令和2年度～3年度に鹿島市が実施した『JR 肥前鹿島駅周辺整備全体構想策定業務』において検討し、『JR 肥前鹿島駅周辺整備全体構想（以下、「全体構想」）』を令和3年11月に策定しました。

全体構想では、① 交通結節点をまちの交流循環拠点へ機能強化すること、② 豊かな暮らしや風景を感じられるまちの玄関口であること、③ 歴史と文化を活かし、賑わいを創出すること、の3つを整備目標に掲げ、JR 肥前鹿島駅周辺まちづくりのテーマ（コンセプト）である『人と自然がつながる私たちの“まちの駅”』を、市民の力で創り出すこととしています。特に、人口減少社会の中、公共交通機関を使わない人も憩い集う交流の場となることが期待されています。

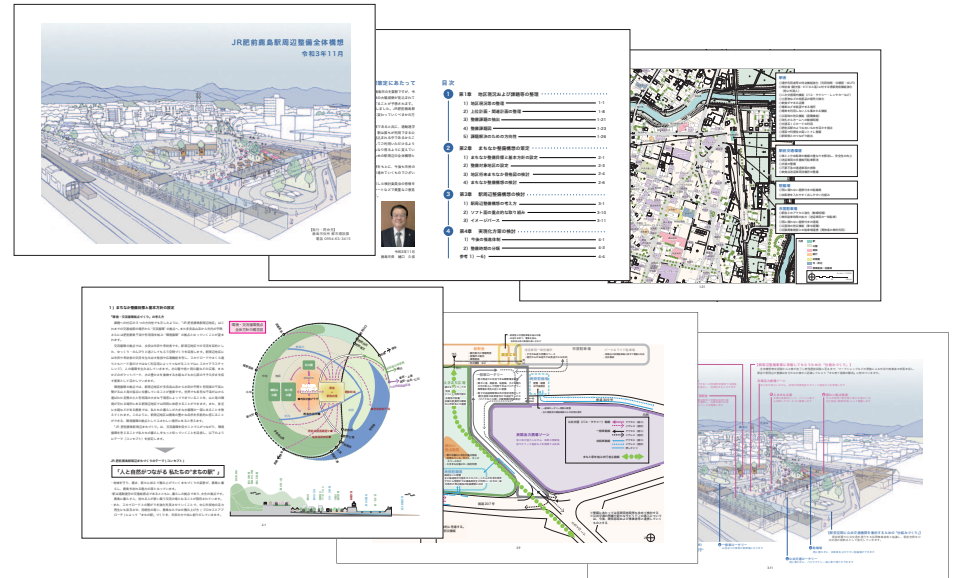
(2) 基本計画策定の目的

「JR 肥前鹿島駅周辺整備基本計画」策定の目的は、駅周辺施設の必要機能を検討し、基本設計及び今後、佐賀県と鹿島市で実施する実施設計、施工へと繋げるだけでなく、全体構想の実現に向けた整備の基本的な考え方を佐賀県と鹿島市が共同で検討し、計画を策定することで、駅周辺施設の一体的な整備の必要性を共通認識とすることです。

駅周辺施設の一体的な整備を図るには、各施設の整備主体間の合意形成が不可欠であり、機能を十分に発揮するためには全体調整を図るなど全体をマネジメントする機能が必要となります。さらに、市民に利用される施設となるためには、施設を利用する市民の声を反映し、施設に対する愛着を醸成する必要があることから、計画段階からの市民参加の促進が求められます。こういった背景の中、関係者が一丸となって全体構想の実現を目指す基本的な考え方として、「JR 肥前鹿島駅周辺整備基本計画」を策定しました。

なお、今後、基本設計から実施設計へと事業内容を精査していく過程において、この基本計画の内容の一部は変更されることがあります。

■ JR 肥前鹿島駅周辺整備全体構想（令和3年11月）抜粋（巻末-3 構想概要版参照）



2) 基本計画策定までの流れ

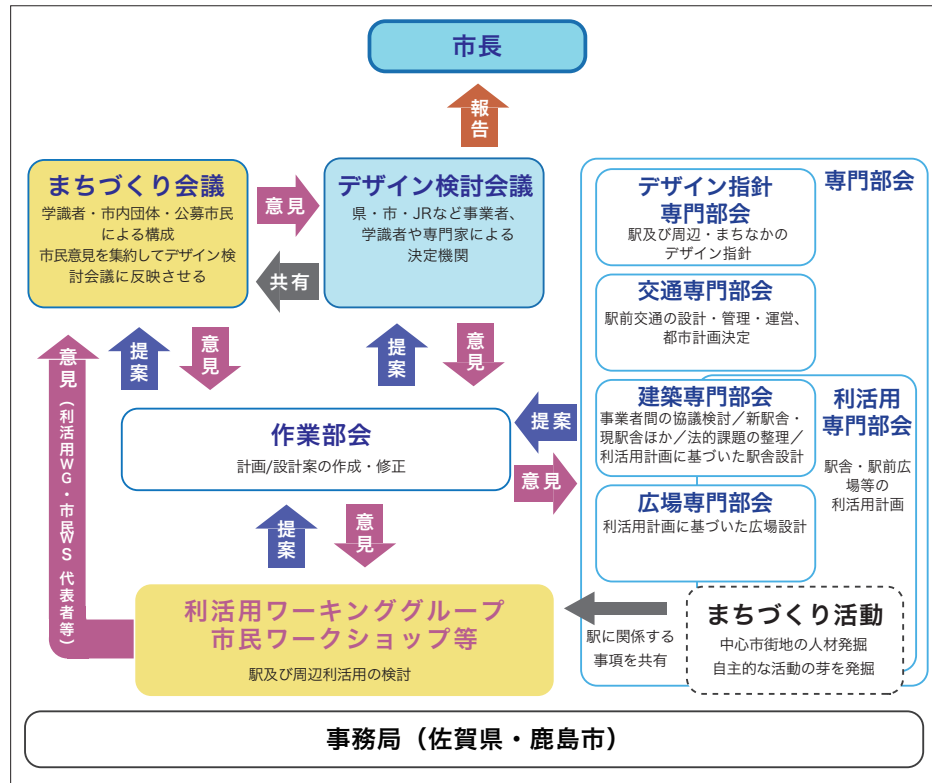
(1) 検討体制

検討体制としては下図に示すように、市民等で構成される「まちづくり会議」からの意見を受け、事業主体で構成される「デザイン検討会議」が意思決定を行い基本計画最終案を市長に報告いたしました。

「まちづくり会議」では、市民ワークショップ等からの意見が集められ、「デザイン検討会議」への意見や共有を行い、広い市民意見の計画への反映を担いました。

専門家等で構成する「作業部会」では各会議へ提案する計画や設計案の作成を行い、更にその下部には専門分野に分かれた「専門部会」を設置し、詳細な計画内容の検討を行いました。

■ JR 肥前鹿島駅周辺整備基本計画策定 会議体制



(2) 検討の流れ

令和3年11月の全体構想策定後、専門部会で詳細な検討を継続し、作業部会を5回、まちづくり会議を2回、デザイン検討会議を2回開催しました。

その間、市民や鹿島高校生の参加を得て基本計画ワークショップを2回開催。

第二回デザイン検討会議において委員の承認を得た後、「JR 肥前鹿島駅周辺整備基本計画（案）」を市長に報告。「JR 肥前鹿島駅周辺整備基本計画」の策定が完了しました。

■ JR 肥前鹿島駅周辺整備基本計画策定までの流れ

